

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

チロシンキナーゼ阻害剤治療を受けた慢性骨髄性白血病患者における長期予後および有害事象に関する探索的研究

【目的】

慢性骨髄性白血病は 2001 年に登場したチロシンキナーゼ阻害剤によって、予後が劇的に改善していることが知られています。一般的に長期の服用が必要な治療ですので、長期の有効性及び安全性が担保される必要がありますが、日本におけるこのようなデータは十分に収集されていません。また、治療により長期間深い寛解を維持した患者さんは、チロシンキナーゼ阻害剤を中止した後も無治療で寛解を維持できることが臨床試験で示されましたが、成功率や安全性のデータは不足しています。この研究では、チロシンキナーゼ阻害剤治療の有効性及び安全性に関して調査・解析し、今後の治療方針の決定や新たな治療戦略に発展することを期待しています。

【対象】

2001 年 4 月から 2019 年 12 月の間に慢性骨髄性白血病患者の診断を受け、当院において診療を受けた方

【方法】

診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、Excel の調査票へ入力します。この調査票はパスワードをかけて研究事務局・データセンターへメールで送付され、保管・解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（発症年齢、性別、身長、体重、診断日、既往歴、合併症、検査所見（血液検査、骨髄検査、画像検査など）、治療内容、治療効果、血栓症・感染症・膵炎・二次発がんの有無、予後等）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから 2024 年 12 月 31 日まで

【研究代表者】

熊本大学大学院生命科学研究部 血液・膠原病・感染症内科学/熊本大学病院 岩永 栄作

【データセンター】

日本大学医学部附属板橋病院 血液膠原病内科 入山 規良

【共同研究機関】

熊本保健科学大学、埼玉医科大学総合医療センター、済生会横浜市南部病院
埼玉医科大学国際医療センター、順天堂大学医学部附属浦安病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院
順天堂大学医学部附属練馬病院、横浜市立市民病院、地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター

【当院の研究責任者】

血液内科 仲里 朝周

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町 1 番 1 号
電話 045-316-4580（病院代表） 血液内科 仲里 朝周

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。